

済生会 地域包括ケア連携士 養成研修会

事前学習《8月18日(月)～10月10日(金)まで》

2か月 ● eラーニング・テキストにより事前学習
ならびに課題(ミニレポート)提出
(事前学習のeラーニングの科目一覧 裏面参照)

済生会地域包括ケア連携士は、ソーシャルインクルージョンの推進役を担う済生会が認定する職種です。本研修会は、複合化・複雑化した相談を受け止め、他機関と協働し必要な支援につなげることができる人材を養成することを目的としています。

WEB開催《10月15日(水)》(本部主催)

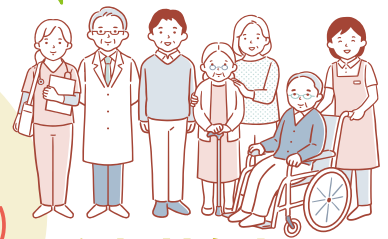
- 13:15～13:30 ● 受付(Zoomへのログイン)
- 13:30～13:40 ● オリエンテーション
済生会本部 社会福祉・地域包括ケア課
- 13:40～15:10 ● 地域包括ケアシステムと地域共生社会
文教学院大学 人間学部 人間福祉学科 教授 中島 修 様
・地域包括ケアシステムと地域共生社会
・地域福祉の推進とネットワークづくり
- 15:10～15:20 ● 休憩
- 15:20～16:50 ● 意思の尊重と自己決定支援
かわさき社会福祉士事務所 所長 川崎 裕彰 様
・本人の意思の尊重と意思決定の支援
・成年後見制度と日常生活自立支援事業
- 16:50～17:00 ● 閉会(対面研修に向けての連絡事項等)

受講費用

11,000円

(済生会職員10,000円)

※10月20日(月)までに支部単位
または施設単位で振込み。
原則、振込後の返金は
致しません。



参加対象者

定員30名

連携に関する実務経験が3年以上あり、
医療・福祉・介護の基礎資格を
有する者、行政機関・
社会福祉協議会等の職員等

対面研修《10月29日(水)・10月30日(木)(2日間)》(佐賀県支部主催)

会場: 済生会唐津医療福祉センター研修大ホール(済生会介護老人保健施設まつら荘2階) 佐賀県唐津市江川町694番地1

1日目

- 13:00～13:10 ● 開会の挨拶
・オリエンテーション
- 13:10～13:55 ● 済生会地域包括ケア連携士による地域包括ケアの展開
社会福祉法人恩賜財団済生会 理事 松原 了 様
- 13:55～14:10 ● グループワーク① 事前学習の振り返り
社会福祉法人恩賜財団済生会
社会福祉・地域包括ケア課 鈴木 孝尚 様
- 14:10～14:20 ● 休憩
- 14:20～15:50 ● ICFについて
西九州大学 リハビリテーション学部 教授 大田尾 浩 様
- 15:50～16:00 ● 休憩
- 16:00～17:30 ● 地域包括ケアシステムにおける多職種および市民との協働
ひらまつ在宅診療所 院長 鐘ヶ江 寿美子 様
- 17:30～17:40 ● 連絡事項

2日目

- 9:00～ 9:05 ● オリエンテーション
- 9:05～10:35 ● ソーシャルワークにおける価値と倫理
大分大学 福祉健康科学部 教授 滝口 真 様
- 10:35～10:45 ● 休憩
- 10:45～12:00 ● 連携士会活動について
済生会地域包括ケア連携士会 会長
(宇都宮乳児院 院長) 荻津 守 様
- 12:00～13:00 ● 休憩
- 13:00～14:10 ● グループワーク②
地域で解決すべき課題の把握
- 14:10～14:20 ● 休憩
- 14:20～16:20 ● グループワーク③
地域課題の解決に向けて
- 16:20～16:30 ● 閉会

レポート作成

対面による研修終了後1ヶ月以内



参加申込み《申込期限: 8月8日(金)》

下記URLまたは、右記QRコードよりお申込みください
<https://forms.gle/FN5ukCEqwHgcP1qA7>



◆主催

佐賀県済生会支部

◆問い合わせ先または受講後のレポート提出先

済生会唐津病院 医療福祉相談室(室長 梶原 順)

TEL 0955-73-3175

✉ soudan@saiseikai-karatsu.com

〒847-0852 唐津市元旗町817

カリキュラム内容

1.5ヶ月

事前学習

e-ラーニング
テキスト

半日

WEB研修

1.5日間

対面研修

1ヶ月以内

レポート
作成

認定連携士

認定書
発行



済生会地域包括ケア連携士養成研修会 事前学習 eラーニング科目一覧



【必須科目】：必ず受講して下さい。

科 目	内 容	動画時間
済生会地域包括ケア連携士とは	済生会の歴史と理念	60分程度
	社会福祉法人に求められているもの	
	地域共生社会の実現と重層的支援体制整備事業	
	現場で求められている支援	
	連携士の養成と地域共生社会の実現に向けて	
ソーシャル インクルージョンの 理念に基づく まちづくり	宇都宮市つながりサポート女性支援事業(生理の貧困等)①	12分
	宇都宮市つながりサポート女性支援事業(生理の貧困等)②	25分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成(鹿児島)①	8分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成(鹿児島)②	4分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成(鹿児島)③	5分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動(北海道)①	23分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動(北海道)②	13分
住民協働での 地域生活課題への 取り組みと地域づくり	長和園の概要と地域における公益的な取り組み	9分
	住民ニーズ会議と事業展開	8分
	子ども食堂と大人食堂	10分
	高齢者カフェと子育てカフェ	11分
	事業運営と効果(地域共生社会の実現に向けて)	9分
住まい・就労・教育 への支援	「住まい」における支援	60分程度
	「就労」における支援	
	「教育」における支援	

【選択科目】：以下の中から3つ以上を選択して受講して下さい。(推奨：すべて受講)

科 目	内 容	動画時間
生活困窮者支援と 更生保護	生活保護法と生活困窮者自立支援事業	13分
	山口圏域生活支援協議会の取り組み	14分
	山口圏域生活支援協議会による活動の成果	15分
	矯正施設退所者への支援①(概要と就労支援)	9分
	矯正施設退所者への支援②(関連施設での支援)	21分
	全国済生会刑罰者等支援推進協議会の活動	4分
医療分野における 連携と支援	唐津地区における地域包括ケア	12分
	医療福祉情報会議による多職種連携	14分
	入退院支援における多職種連携	16分
	入退院支援と地域の看護の質向上	10分
	済生会地域包括ケア連携士の取り組み	13分
高齢分野における 連携と支援	高齢期における住まいと支援	15分
	看護小規模多機能居宅介護と科学的介護	8分
	地域における見守り体制づくり	20分
障害分野における 連携と支援 (障害全般と身体障害)	障害者総合支援法のサービス利用方法①	8分
	障害者総合支援法のサービス利用方法②	10分
	重症心身障害者への支援①	3分
	重症心身障害者への支援②	12分
	視覚障害者への支援①	3分
	視覚障害者への支援②	12分
	聴覚障害者への支援①	3分
児童分野における 連携と支援 (社会的養護)	聴覚障害者への支援②	24分
	医療的ケア児・者を地域で支えるネットワーク	13分
	乳児院における支援①	6分
	乳児院における支援②	12分
	児童養護施設における支援①	10分
	児童養護施設における支援②	13分
	里親への支援①	6分
児童分野における 連携と支援 (障害特性に応じた支援)	里親への支援②	17分
	児童家庭支援センターにおける支援	16分
	重症心身障害児への支援①	8分
	重症心身障害児への支援②	26分
	医療的ケア児への支援	10分
	障害児通所支援(放課後等デイサービス)①	13分
	障害児通所支援(放課後等デイサービス)②	14分
障害分野における 連携と支援 (知的障害)	障害児通所支援(保育所等訪問支援)①	4分
	障害児通所支援(保育所等訪問支援)②	13分
	知的障害者への支援①	15分
	知的障害者への支援②	10分
	知的障害者への住まいの支援(グループホーム)	3分
	知的障害者への就労支援(就労移行支援)①	5分
	知的障害者への就労支援(就労移行支援)②	21分
障害分野における 連携と支援 (精神障害)	知的障害者への就労支援(就労継続支援)①	4分
	知的障害者への就労支援(就労継続支援)②	7分
	知的障害者への就労支援(就労継続支援)③	10分
	精神障害者の理解	9分
	ひきこもりと8050問題	4分
	精神疾患の理解①(概要と認知症)	9分
	精神疾患の理解②(統合失調症)	7分
障害分野における 連携と支援 (発達障害)	精神疾患の理解③(うつ病)	10分
	当事者と家族の悩み	6分
	精神分野も含めた地域包括ケアと措置入院	15分
	精神分野における多職種連携	14分
	地域におけるケア会議と地域連携	10分
	発達障害の基本①	17分
	発達障害の基本②(ペアレントメンター)	13分
障害分野における 連携と支援 (発達障害)	児童発達支援センターにおける支援①	11分
	児童発達支援センターにおける支援②	35分
	発達障害者支援センターにおける支援①	4分
	発達障害者支援センターにおける支援②	10分

テーマイメージ

ソーシャル
インクルージョンの
まちづくり

住民協働での
地域生活課題への
とり組と地域づくり

ICF関連

生活困窮者
支援と更生保護

医療・福祉・介護
の支援

ソーシャルワーク

医療・福祉・介護
の連携と
多職種連携



現場の実践例や学習等のポイントが掲載されており、
支援方法の理解を深めることができます。

